

防災行政無線

町では、住民登録をされている1世帯につき1台、防災行政無線戸別受信機を無償で貸与しています。

受信機本体の故障と考えられる場合は、役場窓口または総務課自治防災グループで交換の受け付けをしています。修理代などの費用はかかりませんので、ご相談ください。

▼問 総務課自治防災グループ
☎ 62・1114

ゴミの収集

★通常のゴミ収集

家庭ごみの収集は、通常どおり行っています。
詳しい日程については、配布しているゴミ収集カレンダーをご覧ください。

▼問 住民課生活環境グループ
☎ 62・2147



健康

ポリオ予防接種

- ▼日時 4月20日(水)
- ▼場所 町立三春病院3階会議室
- ▼受付時間 午前9時～午前10時
- ▼持参品
- ▼予防接種予診票
- ▼母子手帳

▼問 保健センター
☎ 62・5110

乳幼児検診

震災により3月に実施できなかった乳幼児検診を4月の乳幼児健診と合わせて行います。

▼乳幼児健康診査日程

区分	日時・場所	対象	持ってくるもの
3～4か月児	4月19日(火) 13時集合 保健センター	平成22年 11月14日～ 1月10日生まれ	母子手帳・問診票 バスタオル1枚
9～10か月児	4月27日(水) 9時集合 町立三春病院	平成22年 5月24日～ 6月30日生まれ	母子手帳・問診票 保険証・バスタオル・歯ブラシ
1歳6か月児	4月21日(木) 13時～13時30分受付 保健センター	平成21年 7月1日～ 9月27日生まれ	母子手帳・問診票 歯ブラシ・タオル コップ
3歳6か月児	4月20日(水) 13時～13時30分受付 保健センター	平成19年 9月1日～ 11月15日生まれ	母子手帳・問診票 歯ブラシ・タオル コップ・尿

▼問 保健センター
☎ 62・5110

妊婦一般健康診査

4月から妊婦一般健康診査後期の助成内容が追加になります。対象の方には新しい助成券を送付していますが、4月以降

に妊婦一般健康診査を受ける方はご確認ください。

▼県外で受診する場合

妊婦一般健康診査を県外で受診する場合は、届け出が必要になりますので、保健センターまでご連絡ください。

▼問 保健センター
☎ 62・5110

小児用肺炎球菌ワクチン、ヒブワクチン接種の再開

小児用肺炎球菌ワクチンおよびヒブワクチンは、接種後の死亡例が報告されたことで3月5日から接種を一時的に見合わせていました。

その後の厚生労働省による調査の結果、ワクチン接種や同時接種による死亡との因果関係は認められませんでしたので、ワクチンの接種を再開する方向です。

明確な情報が入りましたらあらためてお知らせします。

▼問 保健センター
☎ 62・5110

子宮頸がん予防ワクチン接種のお知らせ

震災により延期となっていた子宮頸がん予防ワクチンの接種日をお知らせします。

▼3月19日に接種予定だった方
※旧中学3年生

▽接種月日 4月16日(土)

▼3月26日接種予定だった方
※旧高校1年生

▽接種月日 4月23日(土)

※接種場所 受付時間は以前にお知らせした内容と変更ありません。

▼問 保健センター
☎ 62・5110

放射能の影響について

★放射能測定値

三春町における放射能測定値の推移をお知らせします。
3月17日の時点で2・58であった値が28日の時点では、0・59となっており、減少傾向にあります。

▼環境放射能測定値(三春町)
単位: マイクロシーベルト/時間

測定日時	測定値	測定日時	測定値
3月17日	2.58	3月23日	0.82
18日	2.34	24日	0.71
19日	2.39	25日	0.67
20日	1.41	26日	0.66
21日	0.94	27日	0.65
22日	0.90	28日	0.59

【参考】胃のX線集団検診1回当たりの放射線量
0.6ミリシーベルト→600マイクロシーベルト

▼問 三春町観光協会
☎ 62・3690

★家畜・農作物への影響

現在、国の指示で福島県全体の農産物の出荷・摂取はできないことになり地元産の野菜や乳製品はお店にはありません。食品中の放射性物質は随時検査されています。

▼食品中の放射能測定値(三春町)

単位: マイクロシーベルト/時間

採取日時	試料種類	放射性ヨウ素131	放射性セシウム134	放射性セシウム137
3月21日	ブロッコリー	380 (2,000)	500 (500)	520 (500)
3月22日	原乳	38 (300)	ND (200)	ND (200)
3月24日	いちご	8.3 (2,000)	ND (500)	ND (500)

※下段のカッコ内の数値は、試料種類の暫定規制値です。
※表中の「ND」は、検出されなかったという意味です。

現状の三春での値は、直ちに健康被害が出るものではないとの国の見解ですが、基準値を大きく超える近隣市町村もあり、数値は日々変わっています。
基準値以下の農産物を摂取する際にもよく水洗いをするなど、安全対策を行うとさらに影響を小さくすることができます。

▼問 産業課農林グループ
☎ 62・2112